

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表 令和4年3月30日

事業所名 はあとキッズ | 新山口

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標、現状等
環境・体制整備	1 利用定員は、指導訓練や活動スペース等との関係で適切であるか	3	2	室内で運動ができるスペースが確保されている	来所してすぐに学習スペースがあって、終わったらい方へ移動して活動ができるという動線が良い。雨天でも自由に体を動かせる。
	2 職員の配置数は適切であるか	2	3		個別対応が必要な児童が増えたため、ゆとりのある人員配置が望まれる。
	3 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間になっているか	3	2	ロフトが落ち着ける空間になっている。	広く使えたり、くつろげたり、活動に合わせた空間になっている。
業務改善	4 アンケート調査を実施するなど、保護者の意向を把握し、業務改善につなげているか	5	0		保護者会や個別面談、アンケート調査などで、意向を把握して、改善に努めている。
	5 自己評価の結果がホームページで公開されているか	5	0		毎年、法人のホームページで、事業所における自己評価結果及び保護者からの事業所評価の集計結果を公表している。
	6 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	0		第三者評価の受審は平成28年度で、数年経過していたため、昨年度に受審した他の放デイ事業所（同一法人）の評価結果を参考にした。
	7 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	0	毎月、定例研修会に参加	法人主催の研修が充実している。
適切な支援の提供	8 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	0	個別面談の実施	保護者の希望や日頃の子どもの状況、その他の課題等を踏まえて作成している。
	9 支援計画は、職員の意見も聞いて作成しているか	5	0		職員全員で支援計画案を確認し、意見を出し合って最終決定している。
	10 支援計画に沿った支援が行われているか	5	0		職員は、各児童のアセスメントシートや個別支援計画等の理解に努めている。その日の支援の流れや役割分担等を把握して、支援に臨んでいる。
	11 職員は、児童発達支援又は放課後等デイサービスガイドラインを概ね理解しているか	5	0	ガイドラインは、いつでも誰でも見れるように机上に配置	児童福祉法も理解してほしい。
	12 活動プログラムはチームで立案しているか	5	0		前月に次の月のプログラムを決める会議を開催している。
13 平日、休日、長期休暇の別に応じて、課題を細やかに設定しているか	4	1		利用する時間に合わせて設定している。	

	14	自然に触れる機会を設け、季節の変化に興味をもてるよう、豊かな感性を培っているか	5	0	野菜畑の管理	子ども達と畑で野菜を育て、土に触れ、収穫することで、季節を感じている。季節に応じた制作活動も行っている。
	15	社会経験の幅を広げていくために、地域等において行われている行事やイベント等に参加するなど、地域との交流を図っているか	4	1		体験型事業所を掲げており、様々な行事やイベントに参加してきたが、コロナ禍では、難しい。その中で、法人では広報誌等を通じて、事業所等の活動を地域に発信している。
	16	支援開始前には職員間で、その日の支援の内容や役割分担について確認しているか。また、支援の振り返りを行い、職員間で共有しているか	5	0	振り返りは翌朝に行う	その日のスケジュール、役割分担等について、リーダー(日替わり)が指示している。振り返りは、ノートに記録している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善等につなげているか	5	0		日々、子ども達の変化を見逃さないように心掛けながら、タブレットで記録している。別に、個別のノートを作成し、気づいたことを記入している。
	18	サービス担当者会議には、その子どもに精通した職員が参画しているか	5	0		基本的には、そうであるが、勤務の都合で、当該職員が参加できないことがある。
	19	地域自立支援協議会子ども部会等に積極的に参加しているか	3	2		コロナ禍で、今年も子ども部会は開催されなかった。
	20	学校との情報共有(支援方針、年間計画・行事予定等の交換等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡等)を適切に行っているか	5	0		学校で開催される担会においては、教員、相談、保護者、事業所が同席で情報が多いが、毎回ではない。
関係機関や保護者との連携	21	学校の行事や学校参観に参加しているか	4	1		時に、学校側から公開授業などの案内がある。以前は、運動会や文化祭の見学にも出かけたこともあった。
	22	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを支援している場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	4	1		必要な場合は、保護者等を介して情報を得ている。協力医療機関は、隣接(同一法人)
	23	障害のない子ども達との交流の機会があるか(児童発達支援、放課後等デイ)	2	3	併設している保育園や学童との交流	親子行事では、祖父母や兄弟姉妹も参加できるようなイベントにして、家族支援、兄弟相互の交流も図ってきたが、これらも今はできなくなった。
	24	送迎時や連絡帳等を通じて、日頃から子どもの様子を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題等について共通理解を持っているか	5	0	LINEも活用	送迎時や連絡帳で伝え合うように努めている。
	25	運営規程、支援の内容、人員体制、利用者負担、苦情処理の手順、緊急時の連絡体制等を丁寧に説明しているか	5	0		利用契約時に、資料等を添えて、分かり易く、丁寧な説明に努めている。
	26	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	0	保護者面談の実施	適切な支援かどうかは別として、できる範囲で真剣に対応していると思う。足らなかった部分は、後日に対応している。
	27	保護者会や親子行事を開催しているか	5	0		保護者会で、子ども達の活動の様子などを伝えていますが、盛んに行っていた親子行事は、コロナで困難になった。

保護者等への説明責任等	28	保護者等からの苦情について、苦情受付担当者、苦情解決責任者、第三者委員の存在が周知されているか	5	0	重要事項説明書に明記	苦情受付等は、事業所に掲示、第三者委員については、重要事項説明書に記載している。
	29	苦情があった場合は、迅速かつ適切に対応しているか	5	0		法人の苦情解決に関する規程等に基づき、適切に対応している。 障害児又は保護者からの苦情を解決するために講ずる措置の概要を県に提出している。
	30	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信しているか	5	0		2ヶ月に一度、子ども達の活動状況がよくわかる写真をメインにした「たより」を発行している。その他、情報の発信は随時行っている。
	31	個人情報に十分注意しているか	5	0	職員の心得等を掲載した職員ハンドブックがある	個人情報を扱う場合について、事前に保護者の同意を得ている。職員は、守秘義務に関する誓約書を提出
	32	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	1		コロナ前は、地域住民を招待したり、高齢者施設を訪問する等の行事も行われたが、今はできない。
非常時等の対応	33	子どもの事故やケガ、健康状況の急変、感染症や食中毒などが生じた場合の連絡、処置方法等に関するマニュアルが作成され、職員はこれを熟知しているか	5	0	定例研修の実施	定例研修の定番テーマでもあり、職員はよく理解している。
	34	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	0		消防計画に基づき、消火訓練、避難訓練、通報訓練、防災教育を年2回行うことになっている。
	35	やむを得ず身体拘束を行わざるを得ない事態が想定される場合、事前に保護者に十分に説明し、了解を得た上で、計画に記載しているか	5	0		必要な児童に対しては、同意を得て、計画に記載している。やむを得ない理由や時間などを記録している。
	36	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	0	医療安全委員会で対応	毎月、事業所内でも報告会を行い、対応策などの共有に努めている。